

柳沢

西東京市民映画祭2018 第17回自主制作映画コンペティション 最終予選会～鑑賞&審査～

将来の日本の映像文化を担う若手映画制作者を応援しましょう

上映時間20分以内の自主制作映画を全国から公募し、受賞作品を選び自主制作映画コンペティション。過去の受賞者の中には大手映画会社よりメジャーデビューした人もいます。

最終予選会では、応募作品122作の中から一次予選を通過した25～28作品を上映し、11月17日(土)にこもれびホールで行われる本選に進む入選作品を選びます。

最終予選会へ
どうぞ

時 9月23日(日) 開場 9:30
作品上映 10:00～17:50
【休憩時間(予定)】 12:00～12:30 15:00～15:10

本選審査委員による講評 18:00～19:00

【出席予定】

- 【審査委員長】 篠原哲雄 (映画監督、「花戦さ」「起終点駅 ターミナル」「山桜」「小川の辺」ほか)
- 【審査委員】 野村正昭 (映画評論家)
本多敏行 (アニメ映画監督)
井坂能行 (映画研究家、監督、プロデューサー)
福山功起 (映画監督、「鉄の子」「埼玉家族」)



篠原哲雄監督

市民審査員として
映画祭に
参加しましょう

審査結果発表 19:00～20:00

場 柳沢公民館 定 70人(先着順)

※必要な方は座布団やクッションをご持参ください。

市民審査員は最終予選会に入選作品を選びます。映画に関する詳細な知識などは必要ありません。また、全作品を鑑賞できなくてもかまいません。若手の映画作家を応援する気持ちがある方、ぜひご協力ください。応募用紙は各公民館にあります。※定員はありません。受付終了後、登録証をお送りします。

日 9月18日(火)までに電話かFAXで西東京市民映画祭実行委員会事務局へ

問合せ 西東京市民映画祭2018実行委員会事務局
電話 042-452-6323(平日の9時～18時)
FAX 042-452-6335

※西東京市民映画祭2018実行委員会との共催事業

柳沢

ムービールーム柳沢

場 柳沢公民館

対 市内在住・在勤・在学者

定 50人(申込順) ※原則として一人で複数の申し込みはできません。
開場時間は上映開始時間の30分前です。

「マリーゴールド・ホテル 幸せへの第二章」

(2015年/イギリス・アメリカ/2時間3分)

9月12日(水) 14時～

監督: ジョン・マッデン
出演: ジュディ・デンチ
リチャード・ギア ほか

日 9月3日(月)9時から平日9時～
17時に電話で柳沢公民館へ

「キルトに綴る愛」

(1995年/アメリカ/1時間57分)

9月28日(金) 19時～

監督: ジョスリン・ムーアハウス
出演: ウィノナ・ライダー
ケイト・キャプショー ほか

日 9月18日(火)9時から平日9時～
17時に電話で柳沢公民館へ

危機管理室 ☎ 042-438-4010

西東京市からのお知らせ

市では、振り込め詐欺等の被害防止対策として、被害にあうおそれの高い世帯を中心に、「自動通話録音機」の配布を行います。詳しくは、広報西東京9月1日号をご覧ください。

楽しく踊ろっフォークダンス 西東京けやきの会
世界中で踊られている民族伝統の踊りを、みんなで楽しく踊りませんか。みなさんのご参加をお待ちしています。
時 9月28日(金)13時半～15時半
場 谷戸公民館
定 30人(先着順)
講師 矢野政美(公益社団法人日本フォークダンス連盟公認指導者)

事業案内

【申請期間】
9月28日(金)～10月5日(金)
※ただし、平日の9時～17時に限ります。
【調整会】
時 10月12日(金)19時～
場 田無公民館
【実施期間】
平成31年1月5日(土)～3月15日(金)

第4期申請受け付け

【昼間の部】
時 9月13日(木)10時～
場 柳沢公民館
【夜間の部】
時 9月14日(金)19時～
場 谷戸公民館

第3回説明会

公民館
市民企画事業

保谷駅前

バンドマルシェ@保谷駅前 演奏者エントリー受け付けします!

保谷駅前公民館の第4学習室(防音室)や地域で音楽活動をしている方同士で、お互いの演奏を聞きながら交流会をしませんか。

時 11月4日(日)

午前: リハーサル

午後: 演奏交流会

※詳細は申込後にお知らせします。

場 保谷駅前公民館

対 音楽活動をしている団体または個人、市内在住・在勤・在学者優先

定 15組(申込順)

日 9月5日(水)10時から9月28日(金)17時までに電話かメールで保谷駅前公民館へ

※当日は、一般の来場者にも公開します。
※ゲストによる演奏もあります。



柳沢

ロビーコンサート出演者募集

楽器演奏、合唱、朗読など、日ごろの活動の成果を発表してみませんか。

時 平成31年1月15日(火)14時～16時

場 柳沢公民館

対 公民館で活動をしていて、実行委員会に参加できる団体

定 2団体(申込多数の場合は抽選)

日 10月5日(金)17時までに電話かメールで柳沢公民館へ

谷戸

第31回谷戸まつり準備会開催

まつり開催日を決定します。参加を希望される団体・市民のみなさんはお集まりください。

時 10月6日(土)10時～12時

場 谷戸公民館

メールでの 講座申込方法

アドレス: 1面参照
件名: 講座名
本文: 氏名・電話番号・住所・年代
※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

幼い頃から不幸ばかりに見舞われてきた少女・幸江が夢を抱き上京するが、まともな職には就けず、しかも出会った男は元ヤクザのイサオ。無口・無職・暴力と三拍子そろっているダメ男。そんな男との生活でもちゃんと家庭を持つことにあこがれ、言い寄ってくる男には目もくれず一途にイサオに尽くす。そして妊娠し一人幸せを感じていたある日、幸江は不慮の事故にあい、生死の境をさまよう。意識のない中、子どもの頃不幸だった人生の回想が始まる。孤立していた幸江に手を差し伸べてくれた少女。彼女もまた嫌われ者だった。二人は互いに励まし合いながら楽しくすごしていたが、ある日幸江は彼女を裏切ってしまった疎遠な関係となる。しかし幸江は上京する日、駅まで見送りに来てくれた彼女の優しさに涙する。現在に至るまでのさまざまな苦辛やイサオとの出会いを想いながら一命は取り留めた。回想シーンからは各キャラが抜群に魅力的で終盤にかけて感動する。幸せの基準があるとするれば人それぞれだろうが上を見ればきりが無い。普通に人生を送れることの幸せをコミカルかつシリアスに教えてくれるいい作品だ。



「自虐の詩」
監督: 堤幸彦 / 2007年 / 日本 / 115分